

# 平成23年 伯耆町防災の日(避難訓練)

～大切な生命・家族・財産を守るために～

避難訓練は、避難経路を覚え、災害時のパニック状態を抑制し、いざという時の手順を覚えるために行われる訓練です。



## ●とき

9月25日(日)

午前8時～

## ●ところ

各実施集落

## ●訓練想定

鳥取県西部を震源とする地震発生。

伯耆町は、震度6強を記録。

## ●今年の実施

### 1. 安全な避難場所を、集落で確認

役場が避難場所に指定しているところにこだわらず、集落のみなさんで話し合っ、安全な場所を集落の避難場所と決めましょう。

### 2. 集落の避難場所までの避難ルートを、各自が確認

マンホールや崖の下、川の近くは危険なことがあります。避難場所までの安全なルートを、各世帯で確認しておきましょう。

### 3. 避難する時は、近所の人と声をかけあって

お年寄りや子ども、病気の人などは、早めの避難が必要です。互いに声をかけあって、避難に協力しましょう。

※平成22年7月に全戸配布された「伯耆町地震防災マップ」をご参照ください。

※この避難訓練は、集落ごとに実施されます。実施の有無については、集落にご確認ください。

ご協力をよろしく申し上げます。

伯耆町区長協議会

(連絡先 事務局 68-3113)

地震が発生したとき、被害を最小限におさえるには、一人ひとりがあわてずに適切な行動をすることが極めて重要です。そのためには、みなさんが地震について関心を持ち、いざというときに落ちついて行動できるよう、日頃から地震の際の正しい心構えを身につけておくことが大切です。



## 揺れが収まったら

### 避難の判断 | 正しい情報に基づいた判断を！ それがあなたの運命を左右します。

うわさや、デマに惑わされないようにしましょう。  
テレビ、ラジオ、消防・役場等からの情報に耳を傾けましょう。

役場からの指示・勧告等がなくても、身の周辺に危険が迫っていると判断した場合は、ためらうことなく避難しましょう。電話の使用は控えましょう。



### 家を出るとき | 避難するときも周囲を確認。 思わぬ事故に遭う恐れがあります。

避難する時には、電気のブレーカーを切り、ガスの元栓を閉めましょう。

我が家の安全を確認後、近所にも声をかけて安否を確認しましょう。



## 救出・救護 |

### 初期消火

消防隊が到着するまで、近所の人たちや自主防災組織の人などと協力して、近隣の住民（特に子供や高齢者などの要援護者）の避難を確認し、バケツリレーなど火災の延焼阻止を試みましょう。

### 救出活動 / 救護活動

災害が大きくなると、負傷者が多くなり、また道路が通行困難となっているために消防署などによる救出活動が間に合わない場合があります。軽いケガなどの処置は、みんながお互いに協力し合って応急救護をしましょう。

建物の倒壊や落下物などの下敷きになった人がいたら、意識があるかどうかを確認し、励ましましょう。救出活動には危険が伴う場合があります。できるだけ複数で協力して行いましょう。



### 帰宅の判断 | 遠距離を無理に帰宅しようとすると、 二次災害を引き起こす恐れもあります。 むやみに移動しないようにしましょう。

家族の安否が心配な場合は、公衆電話、災害伝言ダイヤル171、携帯電話の災害伝言板で家族と連絡をとり、安全が確認できたら、無理に避難する必要はありません。

地震が起きると普段通っている道も通行困難になります。普段から自分で帰宅ルートを歩くなどして、危険な箇所を確認しておきましょう。

